

## 〈令和元年度：『持続可能なJA経営基盤の確立・強化方向』〉

今年度の研究会は、年間統一テーマを、「持続可能なJA経営基盤の確立・強化方向－創造的自己改革の実践－」として、「農協改革」をはじめ、JAをめぐる厳しい経営環境に対応し、第28回JA全国大会決議等を踏まえて、今後のJA改革の展開方向をめぐって取り組んだ。

### (1)研究例会

回数	開催月日 開催場所	テーマ・座長・コメンテーター	サブテーマ・報告者	出席者数
第1回 通算第263回 研究会	7月24日 神戸市 兵庫県農業会館	「営農・経済事業の事業モデルをどう転換するか」  (座長) 神戸大学名誉教授 高田 理 氏  (コメンテーター) 和歌山県農業協同組合中央会 総合企画部長 谷口 昌明 氏 奈良県農業協同組合 常務理事 北村 仁 氏	「わがJAの営農・経済事業改革の取り組み」 兵庫県 兵庫みらい農業協同組合 代表理事副組合長 前田 久至 氏  「JA経営改革のあり方の再検討」 広島大学大学院 統合生命科学研究科 助教 小林 元 氏	51名
第2回 通算第264回 研究会	11月5日 和歌山市 和歌山県JAビル	「信用事業の事業モデルをどう転換するか -デジタルイノベーション時代のJAの未来像を考える-」  (座長) 立命館大学 経済学部 招へい教授 滋賀県立大学名誉教授 増田 佳昭 氏  (コメンテーター) 和歌山県 紀の里農業協同組合 常務理事 岩上 昌義 氏 大阪府信用農業協同組合連合会 システム統括部長 武田 裕文 氏	「デジタルイノベーションに向けた取組み」 農林中央金庫 デジタルイノベーション推進部長 荻野 浩輝 氏  「わが国総合農協のビジネスモデルの未来像と信用事業の役割」 京都大学 学術情報メディアセンター 研究員 三重大学名誉教授 石田 正昭 氏	89名

### (2)研究大会

回数	開催月日 開催場所	テーマ・座長・コメンテーター	サブテーマ・報告者	出席者数
元年度大会 通算第265回 研究会	1月28日 大阪市 エル・おおさか	「創造的自己改革のさらなる実践 -持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けて-」  (座長) 福井県立大学 経済学部 教授 北川 太一 氏  (コメンテーター) 京都大学大学院 農学研究科 特定助教 川崎 訓昭 氏 滋賀県 甲賀農業協同組合 代表理事専務理事 田村 安佐 氏	「わがJAの自己改革の取り組み経過と今後の改革方向 -JA経営基盤強化に向けて-」 神奈川県 秦野市農業協同組合 専務理事 宮永 均 氏  「わがJAの自己改革と経営構造改革の取り組み -JA経営基盤強化に向けて-」 香川県農業協同組合 代表理事理事長 木内 秀一 氏	56名

### (3)研究会の動き

- 「近畿農協研究会の『還暦』を祝う集い」を開催した。
- 本年度研究大会として、創立60周年記念大会を実施した。
- 会報特集号(「近畿農協研究会60周年のあゆみ」)を刊行した。

## 〈令和2年度：『JAの社会的価値の再考』〉

当初の事業計画では開催を計画していた緊急特別例会を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、研究例会2回を開催した。

今年度の研究会は、年間統一テーマを、「JAの社会的価値の再考」として取り組んだ。

研究例会の具体的なテーマとして、農業・食料問題解決に果たすべきJAの使命と役割、暮らし・地域活性化に果たすべきJAの使命と役割を取りあげた。

### (1)研究例会

回数	開催月日 開催場所	テーマ・座長・コメンテーター	サブテーマ・報告者	出席者数
第1回	11月9日 大津市	「農業・食料問題解決に果たすべきJAの使命と役割を再考する」	「新基本計画にみる地域農業の課題とJAの役割」 東京大学名誉教授 谷口 信和 氏	61名
通算第266回 研究会	滋賀県農業教育情報センター	(座長) 摂南大学 農学部 教授 北川 太一 氏  (コメンテーター) 龍谷大学 農学部 准教授 山口 道利 氏 京都府農業協同組合中央会 農業対策部長 田井 義浩 氏	「組合員・地域住民を守るためにわがJAが果たす役割 -直売所による取り組みを中心に-」 滋賀県 グリーン近江農業協同組合 常務理事 中江 吉治 氏	
第2回	2月15日	「暮らし・地域活性化に果たすべきJAの使命と役割を再考する」	「JAの『くらしの活動』を核とした地域活性化の実現に果たすJAの役割」 東京農業大学 国際食料情報学部 教授 上岡 美保 氏	55名
通算第267回 研究会	WEB開催	(座長) 摂南大学 農学部 教授 北川 太一 氏  (コメンテーター) 京都大学 学術情報メディアセンター 准教授 仙田 徹志 氏 兵庫県農業協同組合中央会 経営相談部長 竹中 貴文 氏	「暮らしを守り地域活性化を図るためにわがJAが果たす役割 -『くらしの活動』による取り組みを中心に-」 京都府 京都丹の国農業協同組合 企画管理部長 深井 忠進 氏	

## 〈令和3年度：『JAの社会的価値の再考』〉

今年度の研究会は、年間統一テーマを昨年度に引き続いて「JAの社会的価値の再考」として、農を起点に組合員、地域住民とのつながりをどのように強化していくか、総合農協の強みをいかに発揮していくかを中心に、SDGsの実践も視野に入れて取り組んだ。

### (1) 研究例会

回数	開催月日 開催場所	テーマ・座長・コメンテーター	サブテーマ・報告者	出席者数
第1回  通算第268回 研究会	8月5日  WEB開催	「持続可能な地域農業の実現とJAの役割を考える」  (座長) 神戸大学名誉教授 高田 理 氏  (コメンテーター) 龍谷大学 農学部 教授 香川 文庸 氏  大阪府農業協同組合中央会 大阪農業振興サポートセンター長 鷲尾 淳 氏	『都市農業』の今日的役割と『住民参画型農業』実現の課題 摂南大学 農学部 准教授 中塚 華奈 氏  「農を起点とした組合員・地域住民とのつながりづくりと農業振興の取り組み」 兵庫県 兵庫南農業協同組合 代表理事専務 野村 隆幸 氏	69名
第2回  通算第269回 研究会	11月11日  WEB開催	「持続可能な農村社会の実現とJAの役割を考える」  (座長) 関西大学名誉教授 榎原 正澄 氏  (コメンテーター) 奈良女子大学 生活環境学部 講師 青木 美紗 氏 奈良県農業協同組合 常務理事 東 良彦 氏	『地域共生社会』実現の課題とJAの役割 神戸大学大学院 農学研究科 教授 中塚 雅也 氏  「中山間地域における農業・農村振興の取り組み」 和歌山県 ありだ農業協同組合 常務理事 江川 敏 氏	78名

### (2) 研究大会

回数	開催月日 開催場所	テーマ・座長・コメンテーター	サブテーマ・報告者	出席者数
3年度大会  通算第270回 研究会	1月25日  WEB開催	「新型コロナ禍によるフードシステム問題への影響とウィズコロナ時代を迎えたJAの対応策を考える」  (座長) 京都大学大学院 農学研究科 教授 辻村 英之 氏  (コメンテーター) 京都大学 学術情報メディアセンター 准教授 仙田 徹志 氏 滋賀県農業協同組合中央会 農業・地域対策部長 雲林院智史 氏	「コロナショックによるフードシステムへの影響とJAの対応策」 宮城大学 食産業学群 教授 三石 誠司 氏  「ウィズコロナ時代を迎えた農業振興・販売力強化の取り組み」 愛媛県 越智今治農業協同組合 営農振興部長 森 康弘 氏	45名